

H27年度土木技術者と学生の交流会 実施報告書 (平成27年12月7日 名城大学開催)

地域WG

1. 開催内容

- ・日時：平成27年12月7日（月） 16:40～18:50
- ・場所：名城大学天白キャンパス 共通講義棟南101
- ・出席者：236名
内訳：名城大学151名（1年生33名，2年生96名，3,4年生22名）
愛知工業大学 22名
名古屋工業大学 60名
岐阜大学 3名
- ・講演内容
国土交通省中部地方整備局：国土の基盤を支える土木技術者国土の基盤を支える土木技術者
（企画，発注，維持管理について）
中日本高速道路(株)：高速道路の計画～維持管理
(株)オリエンタルコンサルタンツ：国土の基盤を支える土木技術者 ー設計についてー
(株)大林組：「橋梁」の設計と施工について
ショーボンド建設(株)：社会基盤構造物の維持管理 ～施工者の立場から～

2. 実施報告

- ・目的：一つの社会基盤構造物を例（橋）に，その企画から発注，設計，施工，補修，維持管理まで，一連の業務・役割分担を詳しく説明していただく。各業種で活躍している土木技術者に現在携わっている仕事を紹介していただくことで，学生に土木への理解を深めていただくと同時に，土木の魅力を伝えるため。
- ・配布物：交流会プログラム，アンケート（別添）
- ・実施状況：所定のスケジュール（交流会チラシ）に沿って，各講師により橋づくりにおける各業種の分担および各々会社の業務内容について説明がなされた。（実施中の様子は写真を参照）
- ・実施感想：本交流会は，土木学会中部支部・地域WGが企画する「土木技術者と学生の交流活動事業」の中，「垣根を超える」ことを趣旨に，複数の大学で共同開催した初めての試みである。結果的に，開催校である名城大学から151名，名古屋工業大学から60名，愛知工業大学から22名，岐阜大学から3名の参加があり，4校の共同開催となった。交流会後学生に実施したアンケート結果を見ると，約80%の学生が講演内容に満足，約80%の学生が土木技術者の魅力を感じており，さらに，約70%の学生が今回の開催形式である，「同時に各業種を聞くこと」および「他大学との共同開催」，すなわち，業種および大学間の垣根を超えた行事に好感を示している結果となった。ただし，講演時間が予定より大幅に長引くゆえに，最後の質疑応答の時間が短くなるなど現場では少し混乱があったため，プログラム構成や時間配分等について否定的な意見も多かった。さらに，同様な理由により質疑応答が二問で終わり，学生間および学生と講師間では，十分な交流ができていない。企画者としては，講演が密過ぎたこと，講演内容に対し時間は十分でなかったこと，講演内容の依頼が曖昧であったため，講演内容に統一感が欠けるなど反省すべき点は多々ある。講演会後は，講師や来賓，関係者からもアンケートを取っている。アンケートの分析および今後の改善点等については別途提出する予定である。



写真1 忽那副幹事長による開会の挨拶



写真2 コーディネーターによる講演流れの説明

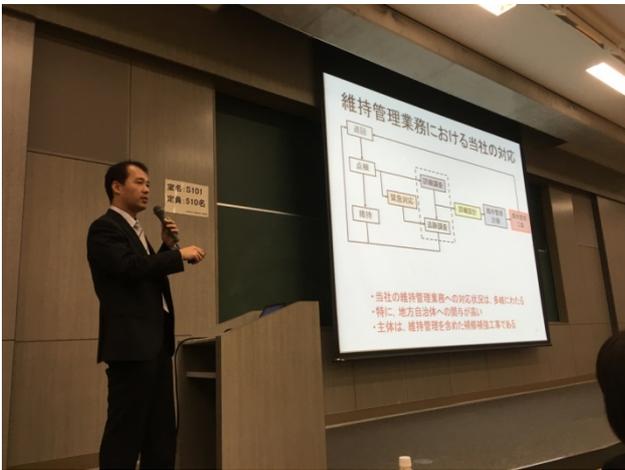


写真3 ショーボンド建設(株)平塚様のご講演



写真4 講演を熱心に聞く参加学生



写真5 パネルディスカッション1



写真6 パネルディスカッション2